

AOYAMA GAKUIN UNIVERSITY NEWS



AGUニュース第68号 [2013年8月～10月号]

2013
No. 68 青山学院大学
〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25
URL: <http://www.aoyama.ac.jp/>

特集 青山学院大学のキャリアサポート

学生の意欲を支える 進路・就職支援体制

2012年度 卒業生の進路・就職状況

誌上公開講座 Aogaku Lecture⑪

英語教育学演習～初期学習者を対象とした英語教育～

TOPICS 2013年度 オープンキャンパス・青学フェア開催日程
小島満業美選手が「第17回世界ジュニア女子バレーボール選手権大会」に出場し、
「ベストリベロ賞」を受賞
青山キャンパスに「フィットネスセンター」を設置

INFORMATION 夏期休業期間中の窓口案内
2013年度 ペアレンツウィークエンド
2013年度 公開講座
第20回 青山学院大学同窓祭



相模原キャンパス(ガーデン)

特集 青山学院大学のキャリアサポート 学生の意欲を支える 進路・就職支援体制

座談会

同一キャンパスで学ぶ4年間一貫教育のスタート、企業採用時期の変更、そして大学生の就職活動解禁時期の繰り下げ決定と、変わり続ける時代に社会に旅立つ学生たちを、どうサポートしていくべきか。本学の進路・就職支援体制の現状とこれからの取り組みについて、懸田就職部長と進路・就職センターの藪田事務部長、相模原事務部 進路・就職課の馬場課長に話を聞きました。



馬場 修二

相模原事務部 進路・就職課長

懸田 豊

就職部長（総合文化政策学部教授）

藪田 洋

進路・就職センター事務部長

本学における2012年度の進路・就職状況について教えてください。

懸田 リーマンショック以降、進路・就職率は低下し続けていましたが、本学では2011年度、2012年度と続けて上向きになっており、2012年度の学部卒業生約4,000名の進路決定率は86.5%です。大学院修了者も含んだ全卒業生に占める就職率は84.4%と、前年度に比べても1.4ポイントほど高くなっています。この数字は早慶上GMARCHの中でトップです。企業の採用活動が2ヶ月後ろにずれて、学生にとっては非常に短期決戦となった中で就職を決めたということですから、かなり努力されたことでしょう。

藪田 これらの数字は、本学の卒業生の99.7%から進路届を提出されていることがベースになっているという点が大きな特長です。卒業生が後輩の皆さんのために自分の進路をきちんと届け出るということは、就職希望者数を分母とした就職決定率ではなく、卒業生全体の中の割合という極めて明確な数字を出すことにつながっています。

青山と相模原、それぞれのキャンパスでどのようなサポートを行っているのでしょうか。

藪田 今年は同一キャンパスで学ぶ4年間一貫教育がスタートしたので、人文・社会科学系の1、2年生も学ぶ青山キャンパスでは、今まで以上に低学年のプログラムを充実させようと考えています。その計画のもと、インターシップや仕事業界セミナーなどの各種ガイダンス、ミニ講座などを実施し、それぞれの時期に応じたものを組み合わせてブラッシュアップします。またOB・OGによる校

友会の方々からも熱心なご支援をいただき、金融・マスコミ・ホテルなど業界別に社会人と触れ合う会や模擬面接なども数多く行われています。

馬場 社会情報学部卒業生輩出が2年目となった相模原キャンパスでは、前年度に方向性が示されたせいか、就職率はかなり伸びています。サポート体制は基本的には青山キャンパスと同じですが、異なるのは各学科に学校推薦などの手続きを行う就職担当教員がいる点で、企業と学生をマッチングさせる役割を担っています。また、理工学部では実験の授業が多く、支援行事に参加する時間がなかなか取れないという現状がありますので、それぞれの行事も早い時期から行っています。今年も「OB・OGと語ろう」という会を先日行い、OB・OGの方々に各業界の説明をしていただきました。相模原の学生はメーカーへの就職が多いですし、工場見学をはじめ、社会人と話をする機会を設けるといったことなども中心に考えています。

懸田 理工学部では特に大学院生へのサポートも重要なテーマとなっていますね。

藪田 青山と相模原でそれぞれ4年間一貫教育となりましたが、人文・社会科学系と理工系では就活スケジュールが若干異なります。特に理工学部は大学院への進学者が多く存在します。そこで、共通してできるものとそうでないものを区分してサポートしていかなければなりません。情報を共有し合い、年に一度は合同研修会も行っています。

懸田 教職員による就職部委員会では、青山と相模原をつなぎ、常に連携をとっています。

馬場 社会情報学部は文系という意識を持っている学生も多く、今後テレビ会議の回線を使って青山キャンパスのセミナーを受けることが可能となるよう準備しています。今でも実際に青山まで足を運ぶ学生もいます。

藪田 同一キャンパスでの4年間一貫教育によって先輩後輩のつながりは強化され、就職状況を先輩から直に聞くことも可能になりました。意識の高い学生は低学年からの支援プログラムを受講しやすくなっていると思います。学生たちにできるだけ活用してほしいのは、進路就職支援システム「Web Ash」というポータルサイトです。本学への求人情報や説明会情報、行事の情報だけでなく、内定した学生にどのような試験が課せられているのかという情報や、エントリーシートでこういう指摘を受けました、というような事例も確認できますし、カメラ付きパソコンで模擬面接を行い、動画で自分の姿をチェックできるようなプログラムも用意しています。

馬場 社会情報学部・理工学部の学校推薦についてもこのサイトでチェックし、情報が得られるようになっています。

1年生のうちから進路・就職支援プログラムが用意されている狙いは何でしょうか。

藪田 私たちは、決して1年生のうちから就職活動をあおっているわけではありません。むしろ、しっかりと勉強してほしい。「青山スタンダード」という科目の中で、自己理解、論理的思考などを学び、その補完として支援プログラムを提供しています。実は、学生生活の充実度が就職活動に結びついていると



私たちは感じています。どんなことであれ、
“やりきった充実感”というものが学生の成長
にはとても役立つもの。ですから低学年のう
ちは学生生活をエンジョイしてほしいです
し、そういう気持ちを込めての支援プログラ
ムなのです。就職というものは自分で考えて
行動してこそ成り立つものです。その上で私
たちのサポートをうまく使っていただきたい。
一方、4年生向けには“今さら聞けない〜”
といった、より具体的な内容の講座など
を行っています。

個別相談では学生から どのような相談を受けるのでしょうか。

懸田 学年、時期によって相談内容はそれ
ぞれ違います。エントリーシートの書き方や
面接対策といった細かい部分から漠然とし
た就職活動への不安など、さまざまです。
藪田 青山では相談ブースを個別に設けて
いますし、ハローワークのスタッフも週2回
来てくださり、また常時キャリアカウンセラ
ーもいますので、多面的に対応しています。
キャリアカウンセラーの増員も図り、その資
格を持つ職員もいます。

馬場 相模原でもやはりそういった専門ス
キルを持つ方は我々と違った見方で対応し
てくださいますし、学生と接することでこの
ような講座が必要ではないかと大学側に提案
もしてくれます。

懸田 進路相談に来ない4年生に対して
は、6月頃からキャリアカウンセラーが直接
電話をして状況を確認し、そこで相談にの
る場合もあります。やはり4年生にはメンタ
ルのケアが重要になってきます。大学は一人

ひとりを見守っていますから、もっともっと進
路・就職センター、進路・就職課を利用して
ほしいですね。

これまで大学3年生の12月だった就職活動 の解禁時期が、2016年卒（現在の大学2年 生）の学生から「大学3年生の3月」に繰り下 げられることが決定しましたが、どのような影 響が出てくるでしょう。

懸田 本来卒論を書く時期に就職活動が重
なります。まずは4年生でやるべき学業に専
念できるのかということが懸念されます。
藪田 この案が出た段階で、現在の2年生
の行事をどう実施するか検討を始めていま
す。準備する期間は変わらないと思いますが、
実施する内容やタイミングを検討してい
るところです。

今後の取り組みについて聞かせてください。

懸田 キャリアカウンセラーによる個別相
談の強化はもちろんですが、企業との連携も
もっと深めたいと考えています。

藪田 本学の学生を採用したい企業と、もう
一歩踏み込んで協議していきたいですね。

馬場 インフラの整備も強化し、学生ポー
タルやWeb Ashの情報をもっと見やすくし
なければなりません。いくら行事を用意して
も学生に伝わらなければ意味がありません
から。

懸田 年間350回以上も実施している支援
行事をより多くの学生に届けられるよう、
しっかり対応し、一人でも多くの学生が納得
のいく進路決定ができるよう、進路就職支援
の強化に努めていきたいと思います。



平澤 健君
法学部法学科4年
(株)みずほフィナンシャルグループ
内定

金融業界を志望していたので、就職活動はこ
の業界に絞って行いました。エントリーシートの
作成では、何度も進路・就職センターへ足を
運んで添削してもらいました。よかれと思って書
いた家族のエピソードより、自分自身が体験し
感じたことを表現するほうが、はるかに相手に
伝わるとの明確なアドバイスをいただき、提出
直前で「志望動機」を全面的に書き換えるとい
うこともありました。思い込みで突き進むでは
なく、第三者の視点は必要だと感じました。入社
試験情報を得るために頻繁に活用したWeb
Ashには、先輩方からの情報も掲載されていて、
とても良い参考になりました。筆記試験や面接
についてなど、まさに体験した人だけが持つて
いる具体的な情報が得られるのでとても役立ち
ました。その他、校友会による模擬面接にも参
加するなど、自分なりに活動を続けることで、モ
チベーションを維持していました。

金融というフィールドでは専門的な知識も大
切ですが、やはり“人”が基本となるはず。就職活
動で学んだことやゴルフ部の部活で培われた
人間関係の構築力を仕事でも活かしたいと思っ
ています。

本学独自の進路就職支援システム 「Web Ash」を活用してください

説明会などの案内を閲覧できるだけではな
く、業種や職種、都道府県別に求人票を検索す
ることができます。内定者の残した企業別の入
社試験報告、公務員試験合格者報告も貴重な
資料です。その他にもインターンシップ情報の
提供、企業ごとの内定者アドバイザーリストの
閲覧や学内行事欠席者のための動画配信な
ど、多くの機能を備えています。学内の情報端
末、パソコン室のみならず、学外からも終日閲覧
が可能です。



2012年度 卒業生の進路・就職状況

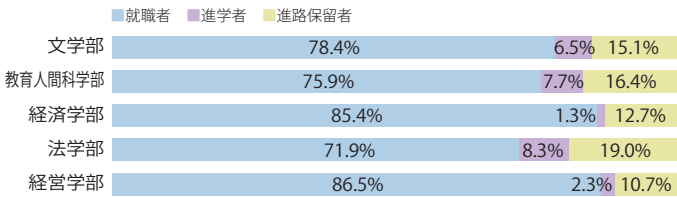
進路決定状況(全体)

	男子	女子	全体
2013年3月学部卒業生	2055名	1954名	4009名
進路決定者	1743名	1725名	3468名
就職者	1470名	1623名	3093名
進学者	273名	102名	375名
進路保留者	303名	226名	529名
進路届未提出者	9名	3名	12名

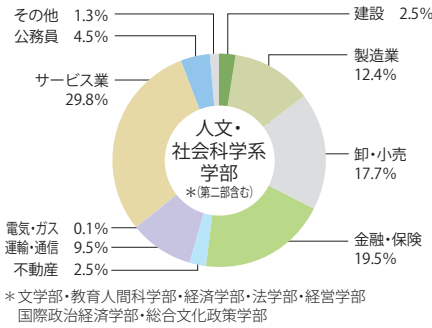
進路決定状況(学部別)

第二部は文・経済・経営(いずれも募集停止)の合計

	文学部	教育人間科学部	経済学部	法学部	経営学部	国際政治経済学部	総合文化政策学部	理工学部	社会情報学部	第二部	全学合計
2013年3月学部卒業生	782名	299名	536名	459名	512名	304名	233名	557名	199名	128名	4009名
進路決定者	664名	250名	465名	368名	455名	269名	210名	518名	180名	89名	3468名
就職者	613名	227名	458名	330名	443名	250名	200名	314名	174名	84名	3093名
進学者	51名	23名	7名	38名	12名	19名	10名	204名	6名	5名	375名
進路保留者	118名	49名	68名	87名	55名	34名	21名	39名	19名	39名	529名
進路届未提出者	0名	0名	3名	4名	2名	1名	2名	0名	0名	0名	12名



業種別就職決定率



就職者数上位10社

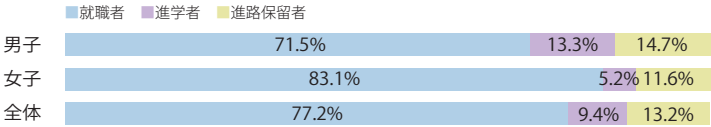
人文・社会科学系学部	
三菱東京UFJ銀行	日本生命保険
みずほフィナンシャルグループ	JALスカイ
ソフトバンクグループ	野村證券
全日本空輸	楽天
日本航空	三井住友銀行

教員採用(専任のみ)

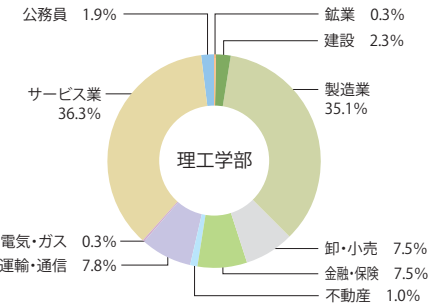
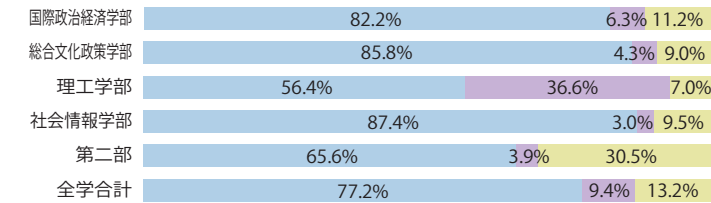
幼稚園／13名(私立13名)
小学校／36名(公立30名、私立6名)
中学校／21名(公立20名、私立1名)
高等学校／19名(公立7名、私立12名)

進路に関する満足度

進路就職活動の成果についての満足度を5段階(満足・ほぼ満足・普通・やや不満・不満)で調査したところ、青山キャンパス(人文・社会科学系学部)に通う学生の71.3%が「満足・ほぼ満足」と回答。また、進路・就職センターの利用率は全体で70.2%で、特に就職ガイダンス、進路就職支援システム、個別相談、資料室の利用率が、どの学部でも高いことが目立ちました。支援体制の満足度(5段階評価で「満足・ほぼ満足」と回答)はセンター利用者全体の57.4%で、支援活動利用と進路満足度との関係では、利用者の方が全体よりも高い(利用者:73.6%、全体:71.3%)ことがわかりました。



・「進路決定者」は「就職者」と「進学者」の合計
・「就職者」は新規採用決定者、自営業者、現職継続者、臨時雇用者の合計
・「進学者」は本学大学院、国内他大学・大学院、海外大学・大学院、専門学校へ進学した学生の合計
・「進路保留者」は進学・留学準備者、各種試験準備者、ボランティア・主婦(主夫)、就職活動継続者などの合計



理工学部(理工学研究科博士前期課程含む)	
ソフトバンクグループ	富士ゼロックスアドバンストテクノロジー
三菱電機	エヌ・ティ・ティ・データ
日本電気	ヤフー
日立製作所	本田技研工業
トヨタ自動車	ワークスアプリケーションズ

公務員採用

国家公務員／12名(厚生労働省、法務省、文部科学省、経済産業省、警察庁ほか)
地方公務員／111名 都 道 府 県:東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、群馬県、長野県、山梨県、愛知県、宮崎県
東 京 特 別 区:世田谷区、渋谷区、品川区、中央区、港区、練馬区ほか
市 町 村:横浜市、相模原市、八王子市、平塚市、藤沢市、浦安市ほか
警察官・消防官:警視庁、神奈川県警察、千葉県警察ほか

一方、相模原キャンパス(理工・社会情報学部)では、75.4%の学生が自身の進路について「満足・ほぼ満足」と回答。進路就職支援部署の利用率は全体で74.2%(進路・就職課:67.9%、進路・就職センター:1.4%、両方とも:4.9%)で、特にES添削、模擬面接などを含む進路・就職に関する個別相談の利用が多く見られました。支援体制に対する満足度は63.2%で、進路就職支援部署を利用した学生の進路満足度は、利用しなかった学生よりも高く(利用者:78.6%、非利用者:66.3%)、進路就職支援部署の利用と進路満足度の相関関係がうかがえる結果となりました。





「SEP実習風景」

Aogaku Lecture 11

英語教育学演習

～初期学習者を対象とした英語教育～

Allen 玉井光江

文学部英米文学科 教授

週1回、年間30コマを設けている英語教育のゼミで、授業はすべて英語で行っています。対象となるのは3年生ですが、4年次で再び受講を希望する学生も少なくありません。もう一度学びたいと選択する決め手となるのは、毎年夏休み中に実施しているSEP(Summer English Program)という実習ではないでしょうか。理論をもとに英語教育に必要なことやそのための活動について前期で学んだ後、実際に小学校の児童に英語を教えるのです。そして、後期ではその体験を踏まえて復習し、英語で文献を読み、さらに理解を深めます。SEPでは、都内の公立小学校で上限25名の参加児童を募り、本学の学生がチームで英語による模擬授業を3日間実施。英語教育の難しさや重要性については、私からよりも子どもたちから学ぶほうが何百倍もあり、学生たちもここで大きく成長します。まさに、実践を通して学んでいるのです。

本講義で用いるテキストは「おおきなかぶ」と「ももたろう」の話を題材にしています。会話や文章で構成された英文を読むのではなく、物語を構成する言葉にリズムを

つけて子どもたちに伝えます。より多くの英単語を覚えられるように、歌や簡単な動作で楽しみながら英語を浸透させ、さらにクイズ形式で内容の理解に導きます。日本語は各音節が同じ長さで繰り返される“音節拍リズム”であるのに対して、英語は文強勢(sentence stress)が等間隔に現れることでリズムを作る“強勢拍リズム”ですから、言葉を手拍子音や歌に乗せることがとても大切なのです。学生たちは、このテキストを手本に、他の物語を取り上げて独自のものを作り上げ、SEPで活用します。本学科の学生たちの英語力は潜在能力としてかなりレベルが高いので、このような教材制作はさらなる勉強になることでしょう。

授業では節目節目でグループディスカッションを行い、それぞれの考えをどう理解しているか、確認しあっています。これから子どもたちに日本語を使わずに英語を教えるには、まず学生たち自身が英語での授業を経験し、発信する力を持たなければなりません。昨今、日本ではグローバル化を目指した英語教育の一手段としてネイティブ・スピーカーの教員数を増やす傾向にあります

が、大切なのは受け手側の理解度、ネイティブによる授業を受ける学生がどれだけ英語を習得しているかということです。知識だけでなく、パソコンやスマートフォンで調べればすぐに入手できる時代。けれど、わざわざ教室という集団の中で他人と関わりながら学ぶことにこそ意味があるのです。個々をつなぐ場で理解を深め、自らアウトプットもできるようにならなければ、英語教育を学ぶ意味がありません。

英語を使えるようになることは、これからの時代にコミュニケーションツールとして必要なことであると同時に、新しいアイデンティティを得ることでもあると私は思っています。将来どんな仕事に就いたとしても、社会に出てから要求されるのは、どれだけ人とつながって仕事ができるかということ。学生たちには、決して指示待ちではなく、自ら発信することで前に進み、何かが生まれるという経験をしてほしい。英語を習得することで未だ見ぬ自分を発見できるのです。英語を通じて新しい自分を見つけることはとてもわくわくすることですし、彼らにもそんなふう

TOPICS

「大学案内2014」をウェブサイトで公開中

大学紹介・学部学科紹介を記載したパンフレット「大学案内2014」を本学ウェブサイトでご覧いただけます。下記のアドレスにてご覧ください。

<http://www.aoyama.ac.jp/outline/reference.html>



Rikejo♡青学(理系女子対象イベント)・青学フェア(千葉・埼玉)・大学院説明会開催報告

6月15日(土)、相模原キャンパスにおいて、理系分野に興味のある女子中高生と保護者を対象としたイベント「Rikejo♡青学」を開催しました。イベントでは、理工学部、社会情報学部の学部紹介や模擬授業、理工学部各学科の紹介および研究室ツアー、社会情報学部の在学生の研究紹介やゼミ体験など、参加者の興味に合わせた企画が開催され、最後のRikejoカフェでは、イベント終了時間まで先輩Rikejoのキャンパスライフの話を熱心に聞いたり、質問したりする参加者が多く見られました。

また、大学・学部紹介イベントとして「青学フェア」を6月1日(土)に千葉商工会議所ホール、6月22日(土)・23日(日)にTOIRO(さいたまスーパーアリーナ内)で実施しました。いずれのイベントも来場者から、「じつくりと学生・教職員と接することができた」と好評を得ました。9月21日(土)には茨城会場としてつくば国際会議場で開催する予定です。

大学院説明会は、7月27日(土)青山キャンパスにて開催しました。説明会では、各研究科・専攻の紹介や教員による個別進学相談、在学生との懇談会などを実施しました。

Rikejo♡青学
(6/15 相模原キャンパス)青学フェア
(6/1 千葉会場)
(6/22・23 埼玉会場)

2013年度オープンキャンパス・青学フェア(茨城)開催日程

オープンキャンパス(事前申込制)

高校生・受験生を対象としたオープンキャンパスを開催します。来場にあたっては、本学ウェブサイト(PC、スマートフォン、携帯電話)から事前の申込をお願いしています。特に各学部学科紹介・模擬授業などの企画は定員になり次第受付は締め切りとなりますので、ご注意ください。

http://www.aoyama.ac.jp/admission/undergraduate/open_campus/open_campus.html

開催日	キャンパス	文学部	教育人間科学部	経済学部	法学部	経営学部	国際政治経済学部	総合文化政策学部	理工学部	社会情報学部
8月22日(木)	青山	○	○	○	○			○		
8月23日(金)	青山	○		○		○	○	○		○
8月24日(土)	青山		○		○	○	○		○	

※相模原キャンパスでの理工学部、社会情報学部のオープンキャンパスは、7月21日(日)に終了しました。

青学フェア(予約不要・入退場自由)

日時: 9月21日(土) 12:00～17:00(予定)
開催場所: つくば国際会議場(つくばエクスプレス つくば駅・徒歩10分)

●実施学部・学科

文学部(英米文学科・比較芸術学科)、教育人間科学部(教育学科)、経済学部、経営学部、国際政治経済学部、総合文化政策学部、理工学部、社会情報学部

●予定している主な企画

学長による特別講義、大学概要・入試概要紹介、学部・学科紹介、個別進学相談、在学生との懇談コーナー、資料閲覧コーナー

※参加者全員に記念品進呈

茨城会場



オープンキャンパス(青山キャンパス)

問い合わせ先: 入学広報部
TEL.03-3409-8627
※各イベントの企画内容は変更となる場合があります。詳細は本学ウェブサイトをご確認ください。

相模原祭開催のお知らせ

2013年度相模原祭は10月12日(土)、13(日)の開催となります。今年で相模原祭も11回を迎え、学部再配置の初年度ということもあり、新しい環境の中で多くの方のご支援のもと、相模原祭を開催いたします。

今年度の相模原祭では、来場者の皆様の心を揺さぶり、驚きを与え感動を呼ぶ企画を多数準備しています。多くの学生が参加し、それぞれがこの日のために練習を重ね、時間をかけて熟成させた努力が形となって

実現する舞台が相模原祭です。

他にはない魅力的な企画を沢山ご用意して多くの皆様のご来場を心からお待ちしております。

Happy くらす作品コンクール 参加作品募集中！

現在、FD活動(Faculty Development 大学教育改善のための取り組み)として、「Happy くらす作品コンクール」を開催中です。本学での授業の思い出について、学生のみなさんに作品の形で表現していただき、他の学生たちや教職員と広くその思いを共有してほしいと思っています。みなさんの声を聞かせてください。

テーマ「心に残る授業」

青学生のみなさんの講義の思い出、心に響いたクラス、自分を変えた授業、目の覚めた講義、元気の出た授業など、講義を通して得た発見や感動、体験、成長などを作品にして応募してください。

応募テーマ

次の3つのジャンルのいずれかから選んでください。
①第1ジャンル：エッセーなど、文章で表現する作品。最大2000字。
②第2ジャンル：詩、俳句、短歌、川柳など、短い韻文で表現された作品。

③第3ジャンル：漫画(四コマ漫画、ストーリー漫画など)。最大A4 サイズ用紙10枚相当。ただし、提出原稿の用紙サイズは自由。
注) 応募作品は未発表のものに限ります。また、他者の権利(著作権、肖像権等)を侵害しないように十分な配慮をしてください。
応募方法
aguofd@aoyamagakuin.jpあてにタイトルを「作品コンクール応募用紙希望」とした空メールを送信してください。折り返し、応募用紙を添付のうえ、返信しますので、必要事項を記入しaguofd@aoyamagakuin.jpあて

に応募用紙と作品のファイルを添付して提出してください。紙媒体での提出も可能です。発表・選考の詳細は学生ポータル配信記事をご確認ください。

提出期間

2013年9月28日(土)必着

問い合わせ先

学務部教育支援課(青山キャンパス)
TEL.03-3409-4165
相模原事務部学務課
教育支援担当(相模原キャンパス)
TEL.042-759-6003

第2回「情報の探索と表現」コンテスト 作品募集！

青山学院大学図書館・青山学院女子短期大学図書館では、本学学生のレポート作成スキル、および情報検索技術の向上を目的として、第2回「情報の探索と表現」コンテストを実施します。本学図書館で利用可能なオンラインデータベース「AFP World Academic Archive (AFP WAA)」に収蔵されている画像コンテンツの中からテーマに即した画像を検索し、「雑誌の記事」を作成してコンテストに応募してください。

応募テーマ

部門A(個人)、部門B(グループ)

「雑誌記事をつくろう! ～日本の知らない世界、世界の知らない日本～」
次のいずれかを選んで「雑誌の記事」を作成してください。

●「日本ではあまり知られていないと思われる世界の出来事」を日本に向けて紹介する

●「世界にあまり知られていないと思われる日本の出来事」を世界に向けて紹介する

取り上げる出来事(話題)、時期は自由です。記事には写真(AFP配信の画像)を掲載してください。過去の写真や最新のニュースから抽出したものでかまいません。記事の分量は、部門AはA4 サイズ 1 枚、部門BはA4 サイズ 4 枚です(タテヨコは自由)。文章は日本語または英語で作成してください(日本語または英語がメインであれば他の言語が混ざっていてもかまいません)。

部門C(個人)

「ニュースにオリジナルの英語見出しをつけよう!」
AFP WAAからひとつの記事を選び、オリジナルの見

出しを英語でつけてください。また、その記事を取り上げた理由について短い英文で説明してください。取り上げる話題、時期は自由です。記事には写真を掲載してください。A4サイズ1枚に写真と記事本文・見出し・理由説明(すべて英語)を記載してください。
応募資格
青山学院大学(大学院・科目履修を含む)および青山学院女子短期大学(専攻科・科目履修を含む)の学生(本学のメールアドレスを利用できること)
応募規定
「募集要項」で確認してください。

賞品

- iPad mini (AFP WAA提供)
 - 『大辞泉』第二版(2巻セット)(ネットアドバンス提供)
 - 富士フィルムinstax mini 7S チェキ(富士ゼロックス提供)
 - オリジナル作品集(富士ゼロックス提供)
 - 図書カード など多数
- 応募方法(作品提出方法)**
作品と応募用紙を下記に提出してください。
●大学図書館本館1Fレファレンスカウンター

●万代記念図書館2Fレファレンスカウンター
●短大図書館カウンター
応募期間
2013年9月21日(土)開館時～10月8日(火)閉館時
問い合わせ先
青山学院大学図書館本館(青山キャンパス)
TEL.03-3409-7833
青山学院大学万代記念図書館(相模原キャンパス)
TEL.042-759-6027
青山学院女子短期大学図書館
TEL.03-3409-7103

応募の際は必ず「募集要項」をご確認ください。
第2回「情報の探索と表現」コンテストチラシはこちら
<http://www.agulin.aoyama.ac.jp/honkan/images/flyer2013.pdf>
第2回「情報の探索と表現」コンテスト募集要項はこちら
<http://www.agulin.aoyama.ac.jp/honkan/images/contest2013.pdf>
本学学生は自宅等の学外からもAFP WAAなどの図書館契約データベースを利用できます。

課外教育プログラム実施報告と今後の予定

課外教育プログラムは青山学院の教育方針を具現化し、正課では得ることのない知識や教養を体得し、そのことを通して社会の一員としてバランス感覚の整った学生を育成することを目的としています。

2013年度の課外教育プログラムの予定は以下の通りです。詳細は各キャンパスの学生生活課にお問い合わせください。

4月4日(木)〈実施終了〉

アルコールバッチテスト

実施場所: 青山キャンパス・相模原キャンパス

企画・目的

新入生を対象として学生生活が始まるに際し、飲酒に対して自己の体質をよく理解するために実施します。

9月25日(水)

相模原キャンパス 上級救急救命法

実施場所: 相模原キャンパス／募集人数: 40名程度

11月下旬実施予定

青山キャンパス 上級救急救命法

実施場所: 渋谷消防署／募集人数: 20名程度

企画・目的

災害時、同時に多数の傷病者が発生した場合は、平



常時のように救急車を期待することは困難となり、自主的な救護活動が極めて重要となります。このようなときのためにも救命講習を受けましょう。

通年企画

青山学院大学県人会

企画・目的

2012年度に発足した「県人会」です。「出身地」や「思い入れのある地域」をキーワードに参加者を募り、県

や地域ごとにグループを形成し、交流を深めていくことを考えています。もちろん、関東出身者の方も大歓迎ですので、みなさんで「新しいふるさと」と「新しいともだち」を発見しましょう。

●お上りさんツアー(5月25日実施終了)

●4 大学合同企画 パーベキュー(7月7日実施終了)

●青山祭参加予定(11月1日～3日)

●横浜&鎌倉散策ツアー(11月下旬予定)

●フリーペーパー「わ」(年2回発行)

*その他の通年企画として、使用済み切手・テレホンカードの回収を実施し、日本キリスト教海外医療協力会(JOCS 切手)、アジアキリスト教教育基金(ACEF テレホンカード)へ宗教センターを通して送付しています。

小島満菜美選手が「第17回世界ジュニア女子バレーボール選手権大会」に出場し、「ベストリベロ賞」を受賞

2013年6月21日(金)から30日(日)までブルノ(チェコ)で開催された「第17回世界ジュニア女子バレーボール選手権大会」に、本学女子バレーボール部の小島満菜美選手(文学部1年)が出場し、日本チームの28年ぶりの「銀メダル」獲得に貢献し、同時に「ベストリベロ賞」も受賞しました。

小島選手は、身長158cmと小柄な選手です

が、高校時代から「全国高等学校バレーボール選抜強化合宿」等に招集されるなど、早くからその実力を認められていました。また、今年4月～5月にかけて行われた「春季関東大学女子1部バレーボールリーグ戦」では、本学の優勝に寄与し、「新人賞」と「リベロ賞」をダブル受賞しました。

今大会でも、ディフェンス力を武器とする全日

本ジュニア女子チームの中で「守備の要」として全試合に出場。積極的にコートの中を動き回ってチームに貢献し、日本人でただひとり、個人賞にも選出されました。



対東北学院大学総合定期戦報告

2013年6月1日(土)から3日(月)までの3日間にわたり、第64回対東北学院大学総合定期戦が東北学院大学を舞台に開催されました。

初日は応援団、吹奏楽・バント・フライング部によるパレードが、五橋公園からアーケード街を通じて行われ、ファンファーレの音色とともに見事な行進を仙台の方々に披露しました。さらに土樋キャンパスでは、レスリング、剣道、柔道の試合が行われ、一瞬のスキをつく素早い動きに圧倒されました。

青山キャンパスに「フィットネスセンター」を設置

2013年4月から青山学院記念館(大学体育館)地下1階に相模原キャンパスと同じフィットネスセンターが設置されました。経験豊富な指導員と豊富なトレーニングマシン及びボクササイズ・ヨガ・ウェストシェイプ等6種類のプログラムが用意されています。午前中は授業のため使用できませんが、12:30～21:00まで一般学生は2,000円、体育会所属学生は1,000円で利用できます。

6月末時点で、約1,800人の学生・教職員が登録し気持ちの良い汗を流しています。

2日目は主に泉キャンパスで、ラグビー、アメリカンフットボール、バレーボール(男女)、バスケットボール(男女)など熱戦が繰り広げられました。また、スポーツだけでなく、吹奏楽部の交歓会や応援団によるリーダー公開が行われ、一



般学生も興味深そうに見入っていました。

総合成績は本学21点、東北学院大学17点と僅差ながら、本学が勝利を収めました。64年という永い歴史を持つ両校の絆・友情を、次の世代まで引き継ぐ大切さを感じながら、杜の都を後にしました。

クラブ・サークルインフォメーション

学生団体の活動予定は、今後変更になる可能性があります。[問い合わせ先 学生生活部 TEL.03-3409-7835]

主要活動予定(2013年8月～10月)

アイススケート部(ホッケー部門)●関東大学アイスホッケーリーグ戦(9～10月)
アイススケート部(フィギュア部門)●第7回東日本学生フィギュアスケート選手権大会(10月)
アメリカンフットボール部●関東大学アメリカンフットボールリーグ戦(9～11月)
居合道部●第46回東日本学生居合道大会(10月)
空手道部●第56回関東大学空手道選手権大会(10月)
弓道部●第61回全日本学生弓道選手権大会(8月)
剣道部●第62回関東学生剣道優勝大会(9月)
拳法部●第29回全日本学生拳法個人選手権大会(10月)
航空部●原田寛一郎杯対抗グライダー競技会(8月)
硬式庭球部●全日本学生テニス選手権大会(8月)
硬式野球部●東都大学野球秋季リーグ戦(9～10月)
ゴルフ部●関東大学秋季ブロック対抗戦(9月)
サッカー部●関東大学サッカーリーグ戦(9～11月)
自動車部●全日本学生ダートトライアル・ジムカーナ選手権大会(8月)
射撃部●秋季関東学生ライフル射撃選手権大会(9月)
柔道部●東京学生柔道体重別選手権大会(9月)
準硬式野球部●東都大学準硬式野球秋季リーグ戦(9～10月)
少林寺拳法部●少林寺拳法関東学生新人大会(9月)
水泳部●第86回関東学生選手権水泳競技大会(8月)
漕艇部●全日本大学選手権大会(8月)
ソフトテニス部●全日本学生ソフトテニス大会(8月)
卓球部●関東学生卓球秋季リーグ戦(9月)
チアリーディング部●チアリーディング日本選手権大会(8月)

軟式野球部●東都大学軟式野球秋季リーグ戦(9～10月)
バスケットボール部●関東大学バスケットボールリーグ戦(9～10月)
馬術部●関東学生馬術争覇戦(9月)
バドミントン部●関東大学バドミントン秋季リーグ戦(9月)
バレーボール部●秋季関東大学バレーボールリーグ戦(9～10月)
ハンドボール部●関東学生ハンドボール連盟秋季リーグ戦(9～10月)
フェンシング部●関東学生フェンシング選手権大会(10月)
洋弓部●関東学生アーチェリー連盟個人選手権大会(8月)
ヨット部●関東学生ヨット秋季選手権大会(10月)
ラグビー部●関東大学対抗戦Aグループ(9～11月)
陸上競技部(長距離部門)●第25回出雲全日本大学選抜駅伝大会(10月)
陸上競技部(短距離部門)●第82回日本学生陸上競技対校選手権大会(9月)
レスリング部●全日本学生選手権(8月)
ラクロス部●関東学生ラクロスリーグ戦(8～11月)
競技ダンス部●松前重義杯争奪学生競技ダンス選手権大会(9月)
吹奏楽/バント・フライング部●東京都大学吹奏楽コンクール(9月)
青山学院大学E.S.S.●チャール杯(10月)
囲碁同好会●国際アマチュアペア碁選手権(9月)
ギターアンサンブル●関東学生ギター連盟独奏会(10月)
グリーンハーモニー●東京六大学混声合唱連盟合唱祭(10月)
箏尺八研究会●定期演奏会(10月)
チェックメイト●関東大学将棋連盟オール学生最強戦(8月)
ロイヤル・サウンズ・ジャズ・オーケストラ●山野ビッグバンドジャズコンテスト(8月)

夏期休業期間中の窓口案内 対象期間 8/4(日)～9/20(金)

- 8月4日(日)～8月11日(日)までは一斉休業期間として、すべての窓口を閉室します。
ただし、下記日時は追試験受付を行います(専門職大学院開講科目は除く)。
 - ・青山キャンパス学務部教務課:8月4日(日)9:00～11:30
 - ・相模原キャンパス相模原事務部学務課:8月5日(月)9:00～11:30
- 8月中の水曜日(8月14日、21日、28日)は閉室します。
なお、この日程以外にも、部署により閉室する場合がありますので、本学ウェブサイトでご確認ください。
- 特別の場合を除き、土・日・祝日は閉室します。9月21日(土)より平常どおり開室します。

夏期休業期間中の
窓口案内の詳細は

本学
ウェブサイト
をご覧ください。

2013年度 ペアレンツウィークエンド

青山学院大学では、大学後援会事業の一環として、在学生の保護者の皆様に大学の近況や学生の皆さんの成績・進路・就職などのご相談やご意見をお伺いするために、経験豊かな大学教職員が協力して説明会や個別面談を通して保護者の皆様により一層大学のことを知っていただくイベントを開催しています。

キャンパス開催実施状況報告

2～3年生の保護者の皆様を対象としたペアレンツウィークエンドは、6月の土曜に各キャンパスで開催しました。多くの方々にご参加いただき、ありがとうございました。全体説明会では、学業や進路・就職についてご説明し、さらにご質問がある方は個別相談にご参加いただきました。恒例のパイプオルガンコンサート、ボランティア学生によるキャンパスツアーも盛況で、保護者の皆様もご満足いただけたようです。



キャンパス開催風景



キャンパスツアー



地区別開催日程

引き続き7～8月には右記の地区での開催を予定しております(一部実施済)。
参加のお申込みは5月にお届けしたご案内に同封の専用ハガキ、もしくは本学ウェブサイトをご確認ください。皆様のご参加を、心よりお待ち申し上げます。

開催内容

10:00～10:30 ● 受付(DVDによる学校紹介)	会場により、開催内容が異なる場合があります。 最新情報は本学ウェブサイトでご確認ください。
10:30～12:30 ● 全体説明会	
12:30～13:30 ● 昼食会(立食)	
13:30～15:00 ● 個別面談(希望者のみ)	

問い合わせ先：庶務部庶務課 ペアレンツウィークエンド 担当
TEL.03-3409-8568

<http://www.aoyama.ac.jp/life/parents/parentsweekend/>
※夏期休業期間中の事務取扱いは本学ウェブサイトでご確認ください。
※開催当日、台風等により開催が危ぶまれる場合は、各会場へ事前にご確認ください。

キャンパス開催(学部別・第二部含む)

学部	開催日	会場名	参加者人数
文 学 部	6月15日(土)	青山キャンパス	567
教育人間科学部	6月15日(土)	青山キャンパス	232
経 済 学 部	6月 8 日(土)	青山キャンパス	365
法 学 部	6月29日(土)	青山キャンパス	486
経 営 学 部	6月22日(土)	青山キャンパス	484
国際政治経済学部	6月 8 日(土)	青山キャンパス	268
総合文化政策学部	6月29日(土)	青山キャンパス	277
理 工 学 部	6月22日(土)	相模原キャンパス	762
社会情報学部	6月29日(土)	相模原キャンパス	204

地区別開催日程・会場一覧

☐ は実施済

対象道府県	対象都市	開催日	会場名
群 馬	高 崎	7月 7 日(日)	ホテルメトロポリタン高崎
富 山	富 山	7月 7 日(日)	ANAクラウンプラザホテル富山
熊 本	熊 本	7月 7 日(日)	ホテルニューオータニ熊本
北海道	札 幌	7月13日(土)	ニューオータニイン札幌
栃 木	宇都宮	7月14日(日)	宇都宮グランドホテル
山 口	山 口	7月20日(土)	山口グランドホテル
徳 島	徳 島	7月20日(土)	ホテルクレメント徳島
宮 崎	宮 崎	7月21日(日)	ホテルスカイタワー
秋 田	秋 田	7月28日(日)	秋田キャッスルホテル
福 岡	福 岡	8月 4 日(日)	ホテルニューオータニ博多
愛 知	名古屋	8月 4 日(日)	キャッスルブラザ
広 島	広 島	8月17日(土)	ホテルグランヴィア広島
京 都	京 都	8月17日(土)	リーガロイヤルホテル京都
静 岡	静 岡	8月18日(日)	ホテルアソシア静岡
兵 庫	神 戸	8月18日(日)	ANAクラウンプラザホテル神戸
山 梨	甲 府	8月24日(土)	常磐ホテル
福 島	福 島	8月25日(日)	福島ビューホテル
宮 城	仙 台	8月25日(日)	仙台国際ホテル

お住まい近くの会場に限らず、どの会場にもご出席いただけます。

大学学費 後期納付のご案内(学部) ※大学院の学費納付については、大学院要覧を参照してください。

【納付期限】9月30日(月)

1) 振込依頼書について

a.2012年度以前入学者

4月中旬にお送りした学費振込依頼書の「B 後期分」をご利用ください。
なお、教職・各種資格課程を申請した方は納入金額に変更が生じています。該当者には7月8日(月)に金額変更済みの振込依頼書を送付しました。

b.2013年度入学者

①入学手続時に前期分の学費を納入された方

7月8日(月)に後期分の学費振込依頼書を送付しました。教職・各種資格課程を申請した方には、後期学費に課程料を加算しています。

②入学手続時に前後期分の学費を一括納入された方

教職・各種資格課程を申請した場合、課程料の振込依頼書を7月8日(月)に送付しました。記載金額をお振り込みください。

2) 納付にあたって

入金確認のため、送付された学費振込依頼書を用いて、金融機関の窓口で納付してください。ただし、ATM・インターネットバンキングの利用を

4年次において留年した学生の後期分学費納付について

4年次で留年した場合、履修登録単位数によって学費が異なります。振込依頼書は10月15日(火)発送予定です。

【納付期限】11月8日(金)

1) 前期分学費を所定の学費で納入した方

→後期の学費は、4年次所定の後期学費(後期授業料)となります。

前期・通年科目申請単位数で、すでに「年間所定の学費上限金額」に達しています。

そのため、後期科目申請単位数に関係なく、前期分・後期分とも所定の学費を適用します。

希望される場合は、学費振込依頼書と同封の案内文に記載されている注意書きに従って手続きしてください。

3) 分納・延納について

学生ポータルに掲載しています。

4) 学費に関するご相談・お問い合わせ

振込依頼書裏面記載の《ご相談・お問い合わせ先》にご連絡ください。

2013年度後期学費一覧表(2010～2013年度入学生) 単位:円

学 部	金 額
文学部	391,500
教育人間科学部	
経済学部	
法学部	
経営学部	
国際政治経済学部	
総合文化政策学部	565,500
理工学部	
社会情報学部	
文学部第二部※	246,000

○教職・各種資格課程を申請した方は別途課程料が加算されます。
○休学、留年、卒業延期、転部、転学部・学科、編入学、再入学をした方は、左記学費一覧表と異なる金額が適用される場合があります。
※文学部第二部英米文学科は2011年度より募集停止しました。

2) 前期に申請単位計算学費で納入した方

→後期学費は、下記の計算式で算出した、単位計算学費となります。

単位計算学費＝後期科目申請単位数×単位料

ただし、上記で算出した後期分の単位計算学費と前期納入済金額の合計が「年間所定の学費上限金額」に達した場合は、下記の計算式で算出した金額を適用します。

後期納入必要額＝年間所定の学費上限金額－前期納入済額

振込依頼書再発行のご依頼(未着、汚破損、紛失など)・納入必要予定額の確認は、財務部資金課にお問い合わせください。
財務部資金課 TEL.03-3409-6479(直通)

2013年度 公開講座

本学では、地域社会への貢献という使命から、大学における教育および研究の成果を広く社会に開放する公開講座を開催しています。各キャンパスでさまざまなテーマの講座を用意して皆様のご参加をお待ちしております。

青山キャンパス(渋谷区教育委員会共催)

10/5～11/9	毎週土曜日	全5回	エスニシティとナショナリズム：近代国家の形成
10/2～10/30	毎週水曜日	全5回	MBAエッセンス講座—会計・ファイナンスの最前線

※11/16～12/21 毎週土曜日 全5回 あなたの瞳に革命をおこしてみませんかーパースペクティヴの転換ー
※11/23(土・祝)は除く

■ 受講料 無料

詳細につきましては、大学ウェブサイト (<http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/extension/>) をご覧ください。
庶務部庶務課 公開講座担当

相模原キャンパス(市民大学青山学院大学コース)

※11/2～12/7 毎週土曜日 全5回 憲法を、事実に基づいて考える

※11/23(土・祝)は除く

■ 対 象 原則として相模原市・座間市に在住か在勤または在学の15歳以上の方(該当者を優先します)

■ 申込期間 9月1日(日)～9月14日(土)

■ 受講料 1,000円

■ 問い合わせ先 さがまちコンソーシアム事務局 TEL.042-703-8550



第20回 青山学院大学同窓祭 AOYAMA GREEN FESTIVAL 2013

今年の青山学院大学同窓祭「AOYAMA GREEN FESTIVAL 2013」は、どなたでも無料でご入場いただけます!会場内での買い物やイベントに参加される際は、ポイントチケット「イーゴ券」が必要となります。

主催：青山学院校友会大学部会 協力：青山学院校友会、青山学院女子短期大学同窓会、青山学院高等部同窓会、中等部緑窓会、くすのき会、いとすぎの会

2013年 9月23日(月・祝) 10:00～17:00



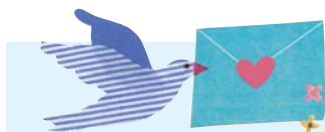
前 売 2,000円
(100イーゴ21枚綴り・福引抽選券1枚付)
当日売 1,000円
(100イーゴ10枚綴り・福引抽選券なし)

問い合わせ先：青山学院大学同窓祭実行委員会事務局
[月～金 10:00～16:00]
TEL.03-3409-8990 <http://aogaku-doso.jp/>



『地の塩、世の光』たる人物の輩出のためにご支援ください

「青山学院 奨学金募金」へのご協力のお願い



『青山学院スカラーシップ』 奨学金受給者の声をご紹介します

“すべての人と社会とに対する責任を進んで果たす人間の形成”のために、愛の手を！

「青山学院スカラーシップ」は、2004年青山学院創立130周年を機に、勉学や課外活動に燃える在校生の経済支援を目的として設立された奨学金制度です。この奨学金は校友、ご父母、教職員をはじめとする青山学院と繋がりのある方々のご寄付から成り、「青山学院教育方針」に記された「すべての人と社会とに対する責任を進んで果たす人間の形成」を目的としております。前号では寄付者からのメッセージをご紹介しました。今回は奨学生の声を一部ご紹介します。本学に学ぶ学生が、経済的理由により退学することなく学業を継続できますよう、皆様のご支援をお願い申し上げます。

「大学生生活全てのお金を工面するため、週5日のアルバイトは当たり前でした。働いても働いてもお金が足りず、精神的にも追い込まれていましたが、奨学金のおかげでプレッシャーが軽くなり、大学にも通えるようになりました」(文学部3年)

「家族からの支援が途絶えた私に手を差し伸べてくれたのが奨学金でした。もし大学を辞めていたら、生涯後悔していたと思います」(法学部3年)

「私の父は完治の見込みのない持病を抱え、家計の不安から両親の口論は絶えませんでした。奨学金をいただけたことにより、家計、両親の精神面とも安定し、私も安心して勉学に勤むことができました。本当に救われました」(教育人間科学部2年)

「私の家は母子家庭で、母は病を患っているため働けず無収入です。そのため私は週4～6日のアルバイトをしていたために、身体的、精神的疲労で勉学が疎かになっていました。奨学金をいただけたことでアルバイトの回数を減らし、安心して学業に時間を費やせるようになりました」(文学部1年)

「私の学生生活は私だけのものではなく、寄付をしてくださっている人がいるからこそ成り立っているのだと考えると、感謝の気持ちでいっぱい力が湧きます。本当にありがとうございます」(経営学部4年)

「奨学金受給者であることに感謝しながら、高校教諭になる夢を叶えるための勉強もでき、非常に有意義な大学生活を送ることができています」(理工学部3年)

「奨学金を頂けたことにより、私の大学最後の1年は大きく変化しました。生活費を稼ぐためのアルバイトだけでなく、来年から始まる仕事の勉強やインターンシップにも参加でき、知識と経験を培うことができました」(経済学部4年)

「本奨学金により留学先における調査研究の幅が広がりました。金銭面から留学を迷う学生には、その一歩を後押しする貴重な奨学金であり、後輩たちにも勧めたいと思います。留学中は感謝の気持ちをもって成果のある論文を発表します」(文学研究科史学専攻博士後期課程1年)

「奨学金をいただけたことでアルバイトの時間を減らし、公務員試験のための勉強とゼミ活動を両立することができました。ゼミではかけがえのない友人と出会うことができました。この奨学金のおかげです」(法学部3年)

青山学院
奨学金募金
資料お申込み先

青山学院募金事務局(間島記念館2階)
TEL03-3409-6208
FAX: 03-3409-3890
Mail bokin@aoyamagakuin.jp



Club & Circle 18 ロイヤル・サウンズ・ジャズ・オーケストラ

本気で意見をぶつけ合いながら、真面目に楽しく演奏しています。

ロイヤル・サウンズ・ジャズ・オーケストラは、1・2年生中心のJr.BANDと3・4年生中心のReg.BANDからなるビッグバンドです。青山祭・相模原祭での演奏や、12月に行う定期演奏会などに加え、他大学とのジョイントコンサート、パーティーでの演奏依頼などもあり、毎年数多くの公演を手がけています。

中でも最も力が入るのが、毎年夏に開催される「YAMANO BIG BAND JAZZ CONTEST」への参加です。私が2年生のときには7位入賞も果たしました。練習ではメンバー同士で衝突するなどつらいこともありましたが、入賞の知らせを聞いた瞬間、そのすべてが吹き飛びました。表彰台に上ったときのことは、いまでも鮮明に覚えています。

私たちは学生だけで活動しているので、どういうサウンドをつくるのか、組織としてどう運営していくかなど、メンバー同士が本気で意見をぶつけ合います。そうした経験からは、ミュージシャンとして、また、人として、たくさんのことが学べます。活動を通して他大学の学生やプロのミュージシャンと交流が持てるのも大きな魅力です。

(コンサートミストレス:理工学部経営システム工学科4年 今井 未来)



AGUニュースについて

青山学院大学では、大学広報誌「AGUニュース」を年5回(1月、3月、5月、7月、10月)発行し、在学生の保証人の方々へ送付しています。また、在学生を対象としてキャンパス内AGUニュース専用スタンドにて配布しています。

本誌掲載の記事、写真、図版などの無断転載・複製を禁じます©2013青山学院大学

- AGUニュースのバックナンバーは、本学ウェブサイトでご覧いただけます。
 - AGUニュースを確実に保証人の方々へお届けするため、住所が変更になった場合は、住所変更の手続きをお取りください。
- 事務取扱窓口 青山キャンパス→スチューデントセンター・学生生活課
相模原キャンパス→スチューデントセンター・学生生活課



発行元: 青山学院大学 入学広報部
TEL. 03-3409-8627

●2013年7月31日発行●